

アカネ

Kunlun flower / *Mussaenda parviflora* / Konronka / コンロンカ

奄美大島の山林地帯の端に自生している常緑低木で、庭園や植木に好まれている。高さ 1m ほどになり、先端が尖っている長い楕円形の葉は濃い緑で、梅雨になると星型の黄色い花が咲くため、目につきやすくなる。5 枚の萼のうち 1 枚が大きく、白く目立つため、「ハンカチの花」という異名を持つ。また、和名の「コンロンカ」は白い萼が、神々の住むとされた崑崙山に雪が山頂に積もる様子に見たてたところからくる。

Cape jasmine / *Gardenia jasminoides* / Kuchinashi / クチナシ

常緑低木であるクチナシは、東アジアの日本、朝鮮半島からインドシアの森林地帯に分布する。琉球諸島では高さ 5m にもなり、細い幹には長い楕円形の葉がつき、星型の白い花は初夏に咲く。ガーデニアに似ているが、クチナシの花びらは薄く、ふつう一重咲き、花片は 5～7 つに分かれている。和名の「クチナシ」は楕円形の果実が熟しても裂開しないことから来ているという説がある。